

北上川等堤防復旧技術検討会

報告書 資料編

17. 阿武隈川河口部における液状化判定結果

北上川等堤防復旧技術検討会
国土交通省 東北地方整備局



図 ポーリング調査位置平面図

0.0k-84m

0.0k+70m



0.0k+70m

0.2k

①

取り付け道路上の変状

川表側に見られる噴砂



川表側に見られる噴砂



0.2k



0.8k

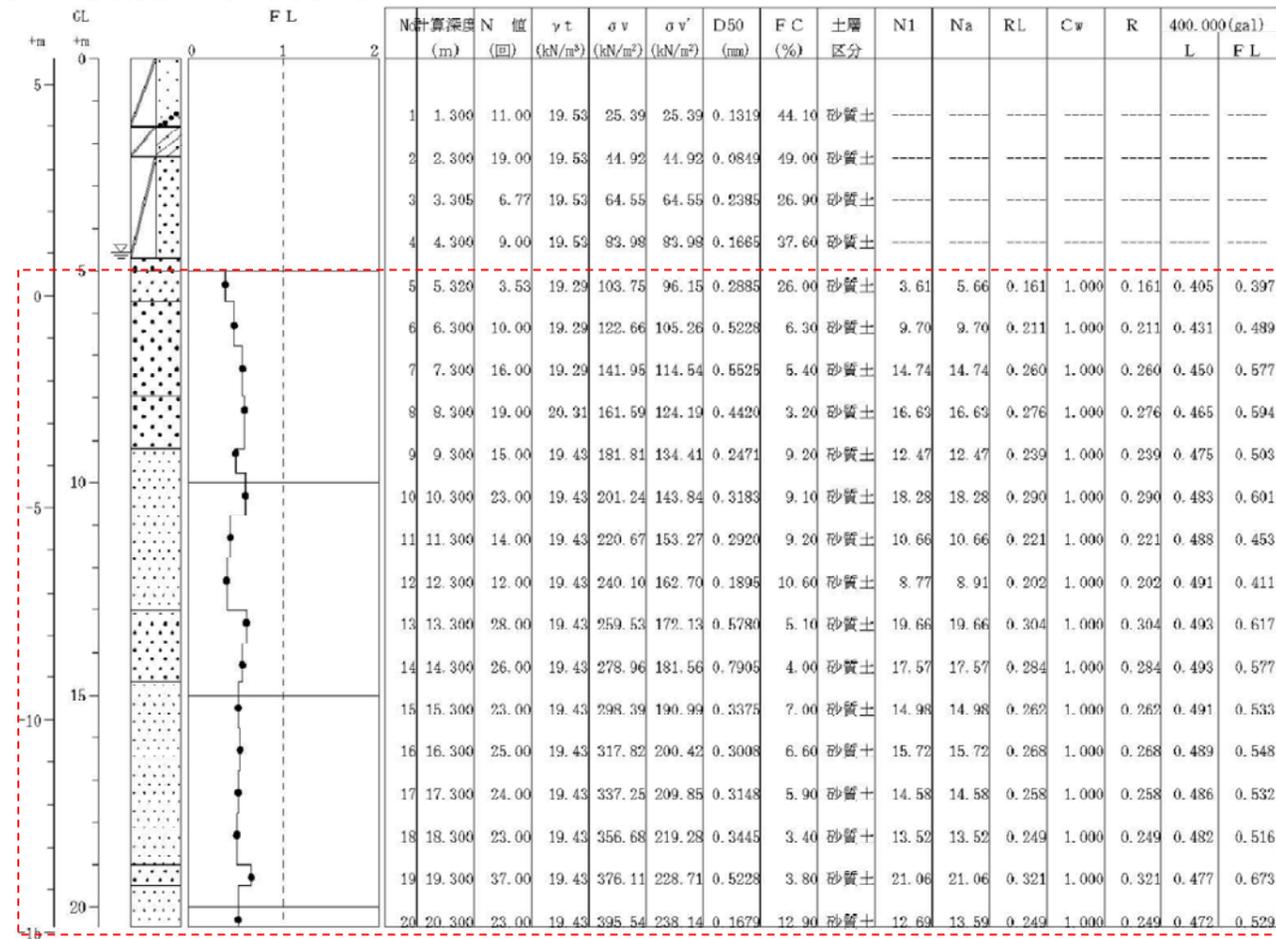


①護岸上流側の変状状況

川表法尻付近に噴砂痕が見られる。

表 阿武隈川右岸 0.1k 天端部 液状化判定結果
(レベル2タイプ I ; 加速度 400gal, 補正係数 Cw=1.0)

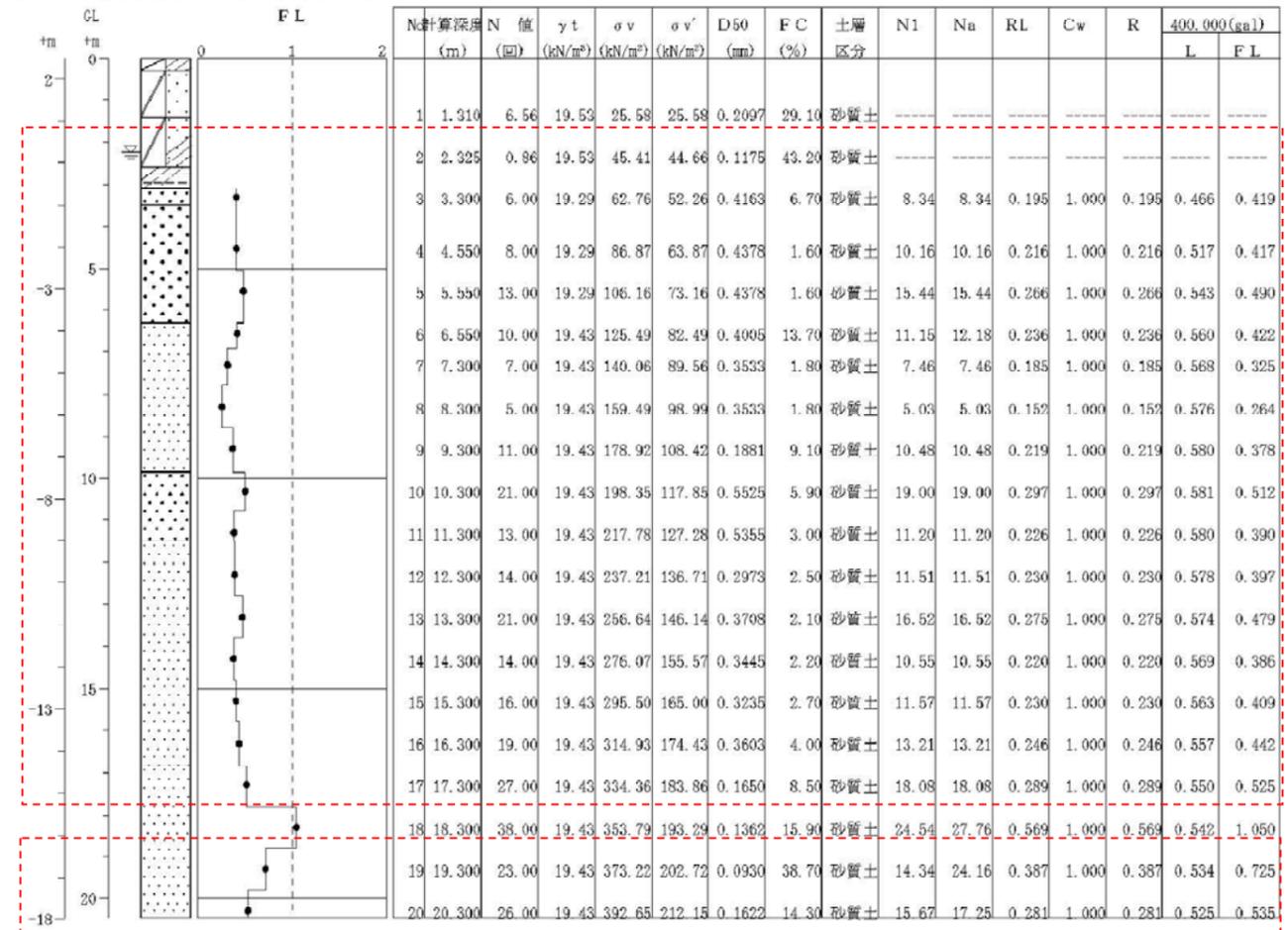
適用式	道路橋示方書式 -新- (2002)
タイトル1	仙台河川国道事務所管内 緊急河川堤防調査業務
ボーリング名	ABR001c
孔口標高 (m)	+5.58m
地下水水位	GL-4.56(m)
PI (加速度)	26.847(400.000gal ●)
低減係数	0.015
計算対象範囲	地下水水位以深で、D50 ≤ 10.0mm



---: 液状化発生の可能性が有る範囲 (FL ≤ 1.0)

表 阿武隈川右岸 0.1k 川裏法部 液状化判定結果
(レベル2タイプ I ; 加速度 400gal, 補正係数 Cw=1.0)

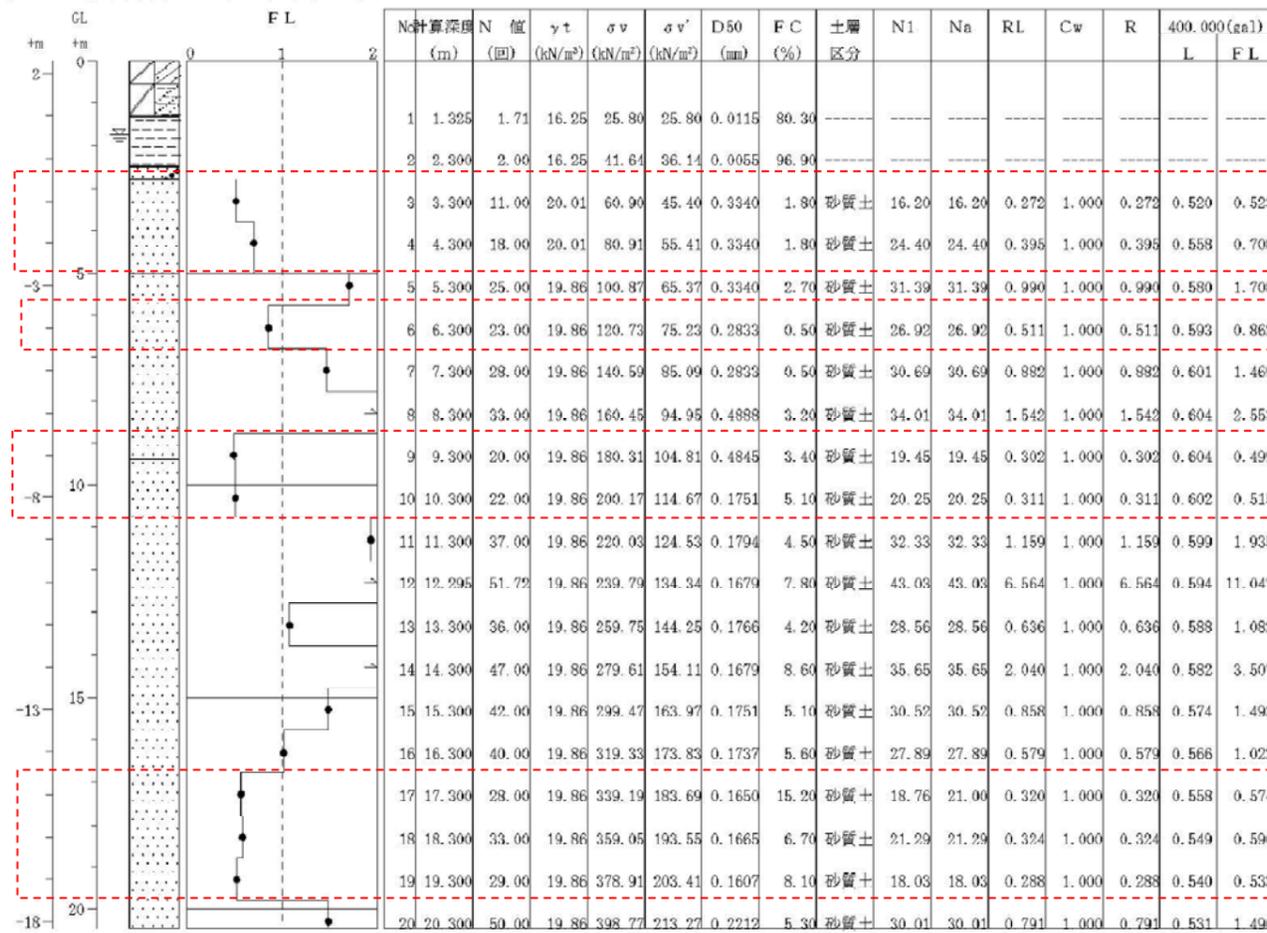
適用式	道路橋示方書式 -新- (2002)
タイトル1	仙台河川国道事務所管内 緊急河川堤防調査業務
ボーリング名	ABR001u
孔口標高 (m)	+2.55m
地下水水位	GL-2.25(m)
PI (加速度)	41.436(400.000gal ●)
低減係数	0.015
計算対象範囲	地下水水位以深で、D50 ≤ 10.0mm



---: 液状化発生の可能性が有る範囲 (FL ≤ 1.0)

表 阿武隈川右岸 0.5k 川裏法部 液状化判定結果
 (レベル2タイプ1; 加速度 400gal, 補正係数 $C_w=1.0$)

適用式	道路橋示方書式一第(2002)
タイトル1	仙台河川国道事務所管内 緊急河川堤防調査業務
ボーリング名	ABR005u
孔口標高(m)	+2.25m
地下水水位	GL-1.75(m)
PL(加速度)	13.743(400.000gal ●)
低減係数	0.015
計算対象範囲	地下水水位以下で、D50≤10.0mm



[- - - -] : 液状化発生の可能性が有る範囲 (FL ≥ 1.0)